

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	09	01	04	0401	消防団施設等整備事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-3	防災危機管理体制の充実			
	施策	3	消防力の強化			
目的	消防団車両等の適正な維持管理					
対象	市民					
意図	消防屯所や消防団の消防ポンプ車、小型動力ポンプ及び積載車を計画的に更新整備し、消防力の充実強化を図ることで市民の安心・安全を守る。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
○消防団施設の整備 ・屯所新築 1棟 ○公共下水道への接続 ・既存屯所 1棟 ○消防団車両等の整備 ・消防ポンプ車更新 1台 ・小型ポンプ軽積載車更新 1台 ・小型ポンプ積載車更新 1台 ・小型動力ポンプ更新 4台 ○デジタル簡易無線登録局の整備 ・固定局5局、車載型移動局134局、携帯型移動局107局						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	消防屯所の更新整備	棟	計画	1	1	
			実績	1	1	
②	消防団車両等の更新整備	台	計画	6	7	
			実績	6	7	
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	消防屯所の更新整備	棟	目標	1	1	
			実績	1	1	
②	消防団車両等の更新整備	台	目標	6	7	
			実績	6	7	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
○消防屯所の更新について…昭和56年6月1日(新耐震基準施行)以降の屯所は、計画的な修繕を実施し平成25年度までは更新時期を経過年概ね40年としていたものを、概ね50年以上で老朽化が著しいものと改める。また、昭和56年6月1日以前に建築された屯所については、既存不適格の建築物ではあるが耐震化に多額の経費を必要とすることから、今までどおり経過年概ね40年以上で老朽化が著しいものとする。		
○消防団車両の更新について…消防団車両等の維持管理を徹底しながら、概ね20年を経過した車両等の中で老朽化が著しく、災害現場において使用することが適当でない判断するものを更新整備する。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市民を火災・水害等の災害から守る消防責任を果たすため必要である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
	<input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	計画的な修繕により消防屯所の長寿命化を図り、今まで耐用年数概ね40年としていたものを、概ね50年に引き上げる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	消防屯所の計画的な修繕の実施により修繕費は増額するが、屯所の長寿命化により工事費は削減することが可能となる。
	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	<input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	消防屯所、消防車両等の計画的な更新により、全ての市民が平等に安全を受益することができる。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
	<input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
不具合のある消防屯所や車両等は定期的なメンテナンスと修繕を実施し、また老朽化が著しい消防屯所や、修繕を重ねても経年により災害現場において使用することが不適当と判断された車両等の装備を更新整備することにより、花巻市の防災力の低下を招くことなく消防団消防力の充実強化が図られた。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 消防本部 課名 総務課 担当係長 八重樫晴彦 内線 376

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	09	01	04	0401	消防団施設等整備事業

単位：千円

	26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費	54,801	80,038		25,237
財源内訳	国・県			
	地方債	39,200	55,500	16,300
	その他			
	一般財源	15,601	24,538	8,937

事業期間	○ 単年度繰返	□ 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	--------	-----------------

部経営方針における目標
消防拠点機能・装備の充実強化を図る

事業開始の背景・経緯
火災・地震・風水害等の災害から花巻市民を守るため、団員約2,000人の活動に必要な施設・装備を整備している。これらについてはできるだけ長く維持・活用することに努めているが、耐用年数等を考慮し、計画的な更新整備が求められている。

事業概要
○消防団施設の整備
・屯所新築 1棟
○公共下水道への接続
・既存屯所 1棟
○消防団車両等の整備
・消防ポンプ車更新 1台
・小型ポンプ軽積載車更新 1台
・小型ポンプ積載車更新 1台
・小型動力ポンプ更新 4台
○デジタル簡易無線登録局の整備
・固定局5局、車載型移動局134局、携帯型移動局107局

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
消防屯所及び消防団車両は、発災時に異常なく使用することができるよう現地確認、調査を十分に行い、常に状態を把握することが重要である。また更新整備をするにあたり消防団の再編計画(協議中)も視野に置いて無理・無駄の無いように進める。

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

(1) 消防屯所の整備 18,900千円 前年比 921千円

所 属	団員数	地区名	建築年	新築概要	金額(千円)	施工内容
第21分団第1部	11	中内	S49	木造平屋建 延床面積73㎡	18,900	建築・外構・乾燥塔・既存物解体

◇ 消防屯所の状況
中内地区で集会所として使用されていた旧農協中内支所の建物の寄付を受け、改装し消防屯所としてしていたが、新耐震基準を満たす建物ではなく、また他の消防屯所比べ老朽化が著しい。

◆ 主な増額要因
・建築費単価の上昇 ・解体屯所の面積増に伴う解体費の増額

(2) 公共下水道への接続 1,142千円 前年比 1,141千円

所 属	団員数	地区名	建築年	金額(千円)	備考
第3分団第3部 (消防コメン)	14 第3分団 188	湯本(上湯本)	S63	1,141	第3部の屯所としてだけでなく、第3分団本部としての機能を有し会議等で多数の団員が使用。

(3) 消防団車両等の整備 35,718千円 前年比 1,714千円

所 属	団員数	地区名	購入年	更新車両等	金額(千円)	区分
第1分団第1部	16	豊沢町	H5	消防ポンプ車(CD-1型)	17,820	更新
第21分団第4部	12	倉沢	H5	小型ポンプ軽積載車	4,234	※変更更新
第18分団第3部	13	土沢(鎗町)	H4	小型ポンプ積載車	6,092	※変更更新
第3分団第10部	12	大畑	H5	小型動力ポンプ	7,474	更新
第5分団第3部	12	下似内	H5	小型動力ポンプ		更新
第6分団第4部	10	太田(柴林)	H5	小型動力ポンプ		更新
第18分団第3部	13	土沢(鎗町)	-	小型動力ポンプ		新規

※21-4普通積載車から軽積載車、18-3消防ポンプ車から普通積載車へ変更 上記以外諸経費156千円

◇ 車両等の状況(直近ポンプ性能試験の結果及び直近車検の結果)
・第1分団第1部【消防ポンプ車】
ポンプ性能 H26.10 異常なし
車 両 H26.H25 ラジエター等取替、自動揚水装置コンデンサ等取替
・第21分団第4部【小型ポンプ軽積載車】
ポンプ性能 - H26年度更新
・第18分団第3部【小型ポンプ積載車】※H26.11現在「消防ポンプ車」
ポンプ性能 H25 異常なし

平成 27 年度事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	09	01	04	0401	消防団施設等整備事業

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

・第5分団第3部【小型動力ポンプ】

ポンプ性能 H26.10 異常なし

・第6分団第4部【小型動力ポンプ】

ポンプ性能 H25 エンジン一式修理

◆ 主な増額要因

・小型動力ポンプ 1 台増

(4) デジタル簡易無線登録局の整備

24,278 千円

前年比 24,279 千円

区分	数量	配備先
固定局	5	消防本部2、北消防署1、東和分署1、大迫分署1
車載型移動局	134	消防本部1、各支所1計3、花巻地域57、大迫地域23、石鳥谷地域26、東和地域24
携帯型移動局	107	消防本部5、中央消防署3、北消防署3、東和分署3、大迫分署6(早池峰救助団連携付加) 花巻温泉分遣所1、南温分遣所1、各総合支所3計9、消防団員76